

第5回 新城市総合計画審議会会議録

日 時：令和8年9月4日（金） 18時00分から19時38分まで

場 所：新城市役所 本庁舎4階 会議室4-2、4-3会議室

出席者：委員11名 事務局5名

次第

- 1 会長あいさつ
- 2 協議事項
(1) 第2次新城市総合計画後期基本計画（案）
- 3 その他（事務連絡等）

【審議会内容】

- 1 会長あいさつ
- 2 協議事項
(1) 第2次新城市総合計画後期基本計画（案）

●概要から重点戦略まで

（委員より意見・質疑）

- ▶ 人口減少や高齢化が計画の推進を阻害することもありうる。計画の途中で見直しや方向転換をしていくことも視野に入れた計画策定が必要だと考える。実際に地域では下水道の拡張計画を推進していくにあたり、高齢化が障害となっている事例もある。

（事務局回答）

- ・ 公共施設等総合管理計画や污水处理基本構想・基本計画の見直しを総合計画と並行して進めている。人口減少を見据えた下水道区域の見直しなど、個別計画との整合性を図りながら総合計画にも反映させたいと考える。

（委員より意見・質疑）

- ▶ 政策横断重点戦略（「バランスのとれた年齢構成への転換」や「地域づくりに関わる人を増やす」など）について、中期基本計画とほぼ同様の内容であるが、これまでの4年間、あるいは8年間で実際成果はどうだったか、進捗状況、課題は何だったのかについて簡単な説明を加えてはいかがか。

（事務局回答）

- ・ 各ビジョンと同様に、政策横断重点戦略の中にもこれまでの取り組みなどを記載できるよう検討する。

●目指すべき姿Ⅰ 個性輝く多様な「ひと」が活躍しています

(委員より意見・質疑)

- ▶ 政策目標1施策1の「考え方・背景」にある「加齢による妊孕性の低下や生活習慣の乱れ」という表現は、高齢出産等に対するマイナスな印象を与えかねないため、配慮したポジティブな表現にしてはどうか。

(事務局回答)

- ・配慮した記述となるよう検討する。

(委員より意見・質疑)

- ▶ 政策目標2施策1の成果指標について、小学校は「児童」、中学校は「生徒」であるため、正しくは「不登校児童生徒出現率」ではないか。また、不登校対応職員としてスクールソーシャルワーカーの記載を入れた点は評価できるが、成果指標は、国のデータと比較できるよう、小学校と中学校に分けた指標設定が望ましいと考える。

(事務局回答)

- ・不登校指標の確認や小中学校別のデータ抽出について確認する。

(委員より意見・質疑)

- ▶ 政策目標2施策2の成果指標「学校施設の空調設置」における「設計」の意味と、設置完了までの具体的なスケジュール（令和10年度の中学校3校完了など）について確認したい。

(事務局回答)

- ・事業者によるスケジュールの策定や設計委託を進め、令和10年度に向けて、順次設置工事を完了させる予定である。

(委員より意見・質疑)

- ▶ 政策目標2施策3の成果指標を「観光ボランティアガイドの育成」から「県内からの来訪者（日帰り）」に変更した理由は不明確であり、施策に合った指標を再検討していただきたい。豊橋新城スマートインターチェンジ開通を見据えると、県内だけでなく隣接する静岡県浜松市など近隣県外からの観光客誘致を目指すべきであり、標語を「県内」に限定しなくてもよいと考える。

(事務局回答)

- ・観光指標の変更理由や「日帰り」の根拠は担当課に確認する。

(委員より意見・質疑)

- ▶ 政策目標3 施策3について、学校・家庭・地域が連携するコミュニティスクール数を新指標として追加してはどうか。

(事務局回答)

- ・コミュニティスクール指標の追加も含め内容を再度検討する。

●目指すべき姿Ⅱ 快適で潤いのある「ちいき」に暮らしています

(委員より意見・質疑)

- ▶ 政策目標1 施策4の「Sバス利用者数」の指標について、人口減少下においては「コロナ前の水準への回復」を目指すのはハードルが高いと考える。「現状維持」とする方が現実的ではないか。

(事務局回答)

- ・地域公共交通計画の計画期間（令和10年度まで）との兼ね合いを含め、表記や目標数値について担当課と検討する。

(委員より意見・質疑)

- ▶ 政策目標1 施策5の成果指標「審議会等における若者登用率」の「維持」という表記は、実績値である18.8%を維持するという意味か。

(事務局回答)

- ・その通り（18.8%の維持）である。数値で記載される指標もあるため表記の統一を検討する。

(委員より意見・質疑)

- ▶ 関連する主な計画の計画期間（開始年・終了年）を明記すれば、総合計画とのリンクや見直し時期が分かりやすくなり参考になると思われる。

(事務局回答)

- ・統一を図り、記載できる計画期間の明記を検討する。

●目指すべき姿Ⅲ 活力にあふれた「まち」になっています

(委員より意見・質疑)

- ▶ 政策目標1 施策2について、地域の実情に合わせた時刻の見直しを行わないと乗降者数は増えないと考える。通期時間帯の新城駅着の時刻だけでなく、新城市発の電車も含め見直すことで利用者も増えるのではないか。鉄道事業者と連携して見直しできるとよいと考え、その旨を取り組み内容に記載できるとよい。

(事務局回答)

- ・担当課と調整し検討する。

(委員より意見・質疑)

- ▶ 政策目標 2 施策 3 の成果指標「木質バイオマスボイラーにおける薪生産量」は表現が分かりにくい。

(事務局回答)

- ・表現の修正を検討する。

(委員より意見・質疑)

- ▶ 政策目標 3 施策 1 について、米価下落等により第 1 次産業の満足度低下が予想されるが対策が見えにくい。また、公社等を経由しない新規就農者の把握や相談体制を強化し、より課題を解決していく施策を示されたい。「収益性の高い農産物の産地維持」面積が 12.63ha のまま変わらない点も気になる。

(事務局回答)

- ・産地維持面積については第三者継承による維持を意味しているため、誤解のないよう取組内容の文言の補足・修正を検討する。

(委員より意見・質疑)

- ▶ 政策目標 3 施策 1 について、茶畑や田畑の荒廃農地対策においても、荒廃抑制の指標や農地全体の方針を盛り込んでいただきたい。

(事務局回答)

- ・荒廃農地対策や農地全体の方針については担当課と検討する。

(委員より意見・質疑)

- ▶ 政策目標 3 施策 2 の成果指標「木材搬出量」の目標は段階的に数値を設定してはどうか。また、施策 3「年間の間伐実施面積(市事業分)」について、すでに令和 8 年度に目標値に近い数値での実施もあり、目標を 50ha で平行線とするのは成長産業化を目指す姿勢としては足りないと考える。

(事務局回答)

- ・木材搬出量は進捗管理の方法を考慮し毎年の数値化を検討する。間伐面積についても担当課と検討する。

(委員より意見・質疑)

- ▶ 政策目標 4 施策 1 の成果指標「企業用地開発」の目標「令和 9 年度 73%」の根拠を明確にし、企業誘致などの積極的な目標を盛り込んでいただきたい。

(委員より意見・質疑)

- ▶ 政策目標 4 施策 2 について、市民満足度「第 3 次産業の振興」が低下している中で、支援制度数や創業者数の目標設定について検討が必要と考える。

(事務局回答)

- ・指標や事業内容の充実について担当課と検討する。

●行政経営の方針

(委員より意見・質疑)

- ▶ 政策目標 1 施策 4 の成果指標「産学官連携にかける新規事業実施数」の実績 3 件の具体的な内容を教えてほしい。

(事務局回答)

- ・内容を確認し、回答する。

3 その他（事務局説明）

上記を第 5 回新城市総合計画審議会の会議録として確認した。

署名

署名